

宇宙船

の 火災



について

—西日本防災システム

Spacecraft Fire Experiment-1

NBS119



Spacecraft Fire Experiment-1 と名づけられた実験！

珍しい貴重な実験が行われたようです。宇宙船内部で発生した火災がどのような燃え広がり方をし、

どのような動きをするのかを確認、監察する実験を2016年に行いました！



今までもNASAは宇宙船内部で小さな火災の実験を行った

ようですが、その微重力下での火災についてはほとんど知識が

無い としています。

1mX0.4m ほどの綿とガラス繊維の混合材質を燃やすようです。



西日本防災システム
NISHINIHON BOHSAI SYSTEM Co., Ltd
<http://www.nbs119.co.jp/>



弊社Top Pageへ 



の 火災



について

—西日本防災システム

Spacecraft Fire Experiment-1

NBS119



実験に使われた **Saffire-1** です。装置の内部には40×100センチメートルのコットン・ファイバーガラスと点火用のホットワイヤー、それに送風用のファンが備え付けられています。そして火災の様子はカメラで撮影され、地上へと送信される仕組みだそうです。

NASAは実験の意義について、「将来的に長期にわたって人が宇宙船に滞在する場合に備え、致命的な事故になりうる火災でどのように物が燃えるのかを知る必要がある」と説明しています。確かに逃げ場のない宇宙船内での火災は、即座に致命的な事故につながります。以前には地上での事故ですが、アポロ1号が発射台上で火災を起こし3名が亡くなったという痛ましい事件もありました。

**及びも付かない状況での火災実験ですが、必ず将来役に立つ結果が生まれるのでしょうか！
今後の実験なども興味深いですね！**



西日本防災システム
NISHINIHON BOHSAI SYSTEM Co., Ltd
<http://www.nbs119.co.jp/>



弊社Top Pageへ 